

## 農商工連携等の推進と新商品づくりに向けた現地研修会の報告

〈令和元年11月8日(金)：栃木県食品産業協会〉

今回の研修会は、地域農産物の生産拡大や高付加価値化などを進めて経営の発展につなげている先進事例を調査し、新商品づくりや食品関連産業の振興に役立ててもらおう目的で実施しました。

### ○床井柚子園 〔宇都宮市新里町〕

平成22年に15人のメンバーと「宇都宮ゆず組合」を結成し、「宮ゆず」のブランド化、6次産業化を推進。数多くの柚子商品を開発するなど宮ゆずによる地域活性化に取り組んでいる。

「柚子の産地づくり～稼げる農業への挑戦～」、「農業ビジネスの確立（一次産業・二次産業・三次産業全てが良かったというシステムづくり）」、「新商品づくり～特に出口戦略～」などについて研修しました。

〈写真：ゆずの栽培(説明、圃場)、ゆず加工施設、ゆず加工品〉



○麦島農園、(株)グルメコンガーズ [宇都宮市新里町]

「新里ねぎ」は宇都宮市新里地区で江戸時代から栽培される伝統的な曲がりねぎで、平成29年5月に県内初の地理的表示(GI)の認定を受けました。

麦島農園は、新里ねぎの伝統的な栽培法を守り伝承すると共に、6次産業化と農商工連携事業に積極的で、平成24年2月には新里ねぎドレッシングなどの3商品を製品化しました。

その後、本格的な農業ビジネスの展開に向け(株)グルメコンガーズを設立。2か所の直営店を設置してシフォンケーキやねぎドレッシングなどの製造・販売に取り組んでいます。

「新里ねぎの復興活動」、「新商品づくり～6次産業化で全国マーケットを目指す～」、「農業のプロ・機械のプロ・レシピのプロがコラボした伝統」などについて研修しました。

<写真：ねぎ栽培(説明、圃場)、グルメコンガーズ直営店、意見交換、シフォンケーキ>

